

1991-2025

アマチュアオーケストラによる国際交流

— 日本から世界への発信記録 —



認定NPO法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO)



NPO World Federation of
Amateur Orchestras

NPO-WFAO



世界青少年オーケストラ協議会 (WYOC) 共同メッセージ

我々は、それぞれの国や地域において、音楽活動を通じ青少年の健全な成長に努力を傾けてきた。ことにオーケストラは、クラシック音楽そのものの美である情熱、典雅、繊細、豪壮といったあらゆる人間感性の表出が可能であると同時に、それ自体がひとつのコミュニティであり、厳しい自己鍛錬と柔らかな協調精神の陶冶の場として青少年教育にふさわしい機能や形態を有するものである。

しかし、現代社会は多様化の時代であり、ひとつの国や民族ですらさまざまな価値観がひしめき合っているのが実情である。その上、緊張の続く国際情勢下にあって、青少年の精神的な成長を育もうとする社会的要求や文化活動に対する必要性は声高に叫ばれてはいるものの、果たしてその実効性や機能は、どの国においても完全に働いているであろうか。

こうした背景の中で私たち青少年音楽活動の指導者は、単に技術的に優れた青少年を選別したり、才能の面だけに注目したりせず、より深く幅広い音楽観や意欲をもたせることを第一の目的にしたい。なぜならその目的こそ、「音楽の本質や価値について考えたり感動したりすることは、宇宙や人間の存在におけるアイデンティティについて感じ、洞察することに他ならないことである」と教える最もよい方法であるからである。21世紀を間近に控えた世紀末のこのような状況の中で、私たちはこれからも個々の努力を各国において続けていくと同時に、視野を地球規模に広げ互いの活動や理念を、敬意をもって学び合い、新たなネットワークを創造していかなければならない。それは新しい友情の始まりであると同時に、新世紀の文化活動、青少年活動の展望でもある。

〈1991年3月30日・東京〉

世界アマチュアオーケストラ連盟 (WFAO) 共同メッセージ

WFAOは青少年・社会人のアマチュアオーケストラで構成され、地域や国籍を超えた開かれた組織として1998年に設立された。この組織は、アマチュアオーケストラによる世界規模の交流や情報交換を通じて、音楽を愛する人々が相互に高め合い、友情を育む場所を提供することを目的とする。

〈1998年8月1日・金沢市〉

地球が交響する日を夢みて

「国や民族によって、気質や音楽に対する感性が異なるのは当然ですが、だからこそオーケストラという共通項で国際交流をすすめることは、自分たちの音楽活動がどのようなレベルや方向性を持っているのかを明確にチェックできる座標のようなものです。」

オーケストラの機能は、人類が生み出した最大人数の協力作業を可能にするものです。しかし最も注目すべきだと思うのは、スポーツの団体競技のような補欠がないことです。さらに言語の壁が全くありません。楽譜の解釈はあくまで演奏する人や集団に対して、その人々の努力と深い洞察を要求しているだけです。さらにクラシック音楽というジャンルは、時代の荒波にもまれて生き残った作品ばかりですから、貴重な文化遺産であることは当然としても、ある意味では、将来私たちが人間としてよりよく生きていくヒントを示してくれるものかも知れません。

オーケストラという集団の背後にあるこのような地球規模の共通項が、WFAOのような世界組織の存在を可能にしています。」

「欧米に追い付け追い越せの時代はすでに終り、これからはアジアの近隣諸国や南米やアフリカといった、これから活力を出してくる国々との連携が大切になってきます。その意味では日本は実にいい中立的というか、ニュートラルな絶好の位置にいるのではないのでしょうか。音楽先進国に一目置かせる実力と、これからの国々がなんでも相談できる優しさを持ち合わせたいと願うのは、私ばかりではありません。」

「本源的に考えれば、音楽を共有することはそれがレベルの低いものであろうと、人間としての原初的な喜びであります。それを素直にさせてくれないものは何か。WFAOをNPO法人にした目的は、もっと広くより深く根を張り、素朴に感動を共にする手段としてのアマチュアオーケストラを目指していこうとするものです。」

ベトナム、ミャンマー、タイやマレーシア、そしてインドなどの諸国。アフリカでも南アメリカでもまだ見ぬ仲間がいる。それは決して能力や技能が優れているわけではなくても、仲間と共鳴したいという人間的音楽的なつながりによって、地球は優しく暖かい曲を交響させることでしょう。」

——— 創設者・森下元康の著述から引用



日本からの発信、アマチュアオーケストラによる国際交流始動

1991

「第7回トヨタ青少年オーケストラキャンプ (TYOC)」にて青少年の国際交流スタート



1991年3月、市川市で開催された「第7回TYOC」では「音の輪を世界に広げよう」を合言葉に広く海外にも参加を呼びかけ、世界8か国から10名の海外参加者が研修合宿を体験し、ここに国際交流活動がスタートしました。

「世界青少年オーケストラ協議会 (WYOC)」設立



「第7回TYOC」に海外参加者の引率として来日した指導者によって、イギリス、ノルウェー、ベルギー、ドイツ、オーストリア、アメリカ、シンガポール、中国、日本の9か国で、1991年3月31日に「WYOC」が結成されました。

1992

「第8回TYOC」「第2回WYOC」名古屋市で開催



「第8回TYOC」は世界14か国から15名の海外参加者を迎えて開催されました。新たな参加国は、オランダ、フランス、スイス、スペイン、オーストラリア、カナダ。16名の海外指導者による「第2回WYOC」も開催されました。

1993

「世界青少年オーケストラフェスティバル'93」名古屋市で開催



3年間の成果が世界フェスティバルとして結実しました。海外からは新たにボリビアの参加を加え、14か国19名の青少年参加者、15名の指導者が集まり、世界の青少年が奏でるハーモニーに惜しみない拍手がおくられました。

1994

「第10回 TYOC」「第4回 WYOC」市川市で開催



3年1期のTYOCでは新たな期を迎え、海外からは世界8か国から8名が参加しました。新たな参加国は、デンマーク、ハンガリー、南アフリカ共和国、香港。10名の海外指導者による「第4回 WYOC」も開催されました。

1995

「第11回 TYOC」「第5回 WYOC」豊橋市で開催



「第11回 TYOC」は世界10か国から10名の海外参加者を迎えて開催されました。新たな参加国は、チェコ、イタリア、マレーシア、インドネシア、メキシコ。15名の海外指導者による「第5回 WYOC」も開催されました。

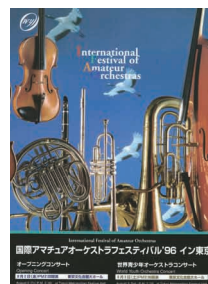
「日独アマチュアオーケストラ友好協定」調印 (JAO・BDLO)



1995年5月6日、ドイツ・ホイゼンシュタム市でJAOとBDLO（ドイツアマチュアオーケストラ連盟）との友好協定が調印されました。同協定は、両連盟の不断の協力と友好を明記した前文と、8つの条文で成立しています。

1996

「国際アマチュアオーケストラフェスティバル'96 イン 東京」



国際交流第2期の結実では「カナダ・ナショナル・ユース・オーケストラ」を招聘するなど、2日間にわたり5つのオーケストラが上野「東京文化会館」で競演。海外からは15か国19名の青少年参加者、18か国20名の指導者が参集。

さらなる広がり求めて、社会人までを対象とした組織へ発展

1997

WYOC を発展させた新組織への改組検討のため、浜松市に参集



TYOC と連携して世界の青少年オーケストラとの交流を続けてきた WYOC は、社会人も含めたより広い交流を目指した新たな世界連盟組織への発展的改組を模索するため、5 か国 5 名の海外指導者が発起人として浜松市に参集。

1998

「世界アマチュアオーケストラ連盟 (WFAO)」設立



1998 年 8 月 1 日、金沢市において、オーストラリア、ベルギー、カナダ、チェコ、ドイツ、オランダ、ノルウェー、シンガポール、南アフリカ、イギリス、アメリカ、ベネズエラ、日本の 13 か国で、WFAO が設立されました。

1999

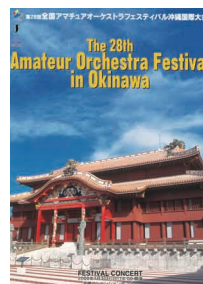
「WFAO 市川会議」 「国際アマチュアオーケストラフェスティバル '99 in Ichikawa」



1999 年 8 月 6・7 日、WFAO 役員会が市川市で開催され、世界 4 か国から 4 名が来日。また、フェスティバルに世界 10 か国から 20 名のプレイヤーを招待し、アイルランド、南アフリカ、ベネズエラなどからも参加がありました。

2000

「第 28 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル 沖縄国際大会」



海外からの参加は青少年 10 名、社会人 2 名、台湾からは「台北県大豊国民小学校管弦楽団」を招聘。また「アジアの仲間たち国際会議」も開催され、インドネシア、韓国、シンガポール、香港、台湾、日本の青少年が参加。

2000

「WFAO ベネズエラ会議」 ベネズエラ・カラカス



2000年11月1～5日、音楽教育プログラム「エル・システム」の創設者、アントニオ・アブレウ博士の招待を受け、9か国20名がカラカスを訪問。青少年音楽活動を視察する中で出会った指揮者は、弱冠17歳のドウダメル青年。

2001

「WFAO 名古屋会議 2001」



2001年8月3～5日、名古屋市「愛知芸術文化センター」にて、フィンランド、イタリア、韓国、スペインが新たに加わり、16か国の参加で開催。南アフリカ、フィンランド、イタリアからのレポートが注目を集めました。

「国際アマチュアオーケストラフェスティバル 2001 イン 名古屋」



2001年8月3～5日、名古屋市「愛知県芸術劇場」にて開催。イギリスから「バーミンガム・スクールズ交響楽団」の招聘を含め、海外から約140名の参加者を迎えて、2日間にわたり6つのオーケストラが競演しました。

2004

「WFAO アムステルダム会議」 オランダ・アムステルダム



2004年9月18・19日、WFAO会議が初めてヨーロッパの地で開催されました。ヨーロッパから10か国、アフリカから1か国、北アメリカから1か国、南アメリカから1か国、アジアから1か国の計14か国、総勢28名が参加。

アジア・アフリカ地域との連帯を強化、新組織の設立へ

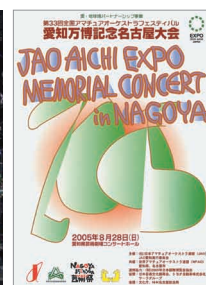
2005

「WFAO 名古屋会議 2005」



2005 年 8 月 26 ～ 28 日、名古屋市「愛知芸術文化センター」にて、ベルギー、中国、チェコ、ドイツ、オランダ、シンガポール、イギリス、台湾、日本の 9 か国が参加、海外から 10 名が来日して開催されました。

「第 32 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル 愛知万博記念名古屋大会」



2005 年 8 月 26 ～ 28 日、名古屋市「愛知県芸術劇場」にて、愛知万博「愛・地球博」のパートナーシップ事業として開催。JAO 愛知オーケストラによる「トヨタコミュニティコンサート in EXPO」の開催も話題になりました。

「アフリカン・ユース・アンサンブル」へ、中古弦楽器や弓、松脂、教則本などを寄贈



南アフリカ・ヨハネスブルグ近郊のソウェトを中心に活動する「アフリカン・ユース・アンサンブル」へ、JAO と WFAO の協力で日本国内から集めた中古弦楽器や弓、松脂、教則本などを、ピースボートの協力を得て寄贈しました。

2006

「WFAO 東アジア会議」宮崎市で開催



2006 年 8 月 4 ～ 6 日、宮崎市で、中国、韓国、台湾、日本の 4 か国で「WFAO 東アジア会議」が開催されました。新たに東アジアグループとして、アジアの積極的な交流についての具体的目標が議論されました。

2006

中国のアマチュアオーケストラ「上海城市交響楽団」設立を支援



公認の社会人アマチュアオーケストラが存在しなかった上海市にWFAOが働きかけ「上海城市交響楽団」が設立されました。これは指導者の曹鵬氏やマネジメントの曹小夏氏、交通大学の学生オーケストラなどが一体となつてなしたものでした。

2007

「WFAO 上海会議」中国・上海 「認定NPO法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO)」設立



〈NPO-WFAO 共同メッセージ〉

私たちは、WFAOの新しいあり方やNPOの運営方針について活発な意見交換を行い、世界組織としての新たなステップを踏み出した。また、2010年開催の上海万博への参加につき具体的な条件について検討した。さらに、アマチュアオーケストラ活動の歴史が浅い国々への支援や協力についても視野に入れた活動を展開していくという結論を得た。私たちは、今後世界に向けアマチュアオーケストラ情報を発信し、積極的に世界平和へ貢献していくことを決議した。

2007年5月11～13日、万博準備の建設ラッシュで躍動する上海市において、世界12か国から20名の参加で「WFAO 上海会議」が開催されました。そして12月には「NPO-WFAO」が設立され、国際交流活動に拍車がかかりました。

2008

「NPO-WFAO 東アジア会議」 「NPO-WFAO 高松会議」



2008年3月29～30日、市川市にて「東アジア会議」を開催。中国、韓国、台湾、日本から17名が参加しました。8月1～3日、高松会議を開催。ベルギー、韓国、イギリス、アメリカ、ベネズエラ、台湾、日本から21名が参加。

2009

「第25回 TYOC」より青少年の国際交流を再スタート



青少年の国際交流は、1991年の「第7回 TYOC」から1996年の「第12回 TYOC」までの6年間行われ中断されていましたが、2009年の「第25回 TYOC」から毎年、アジアの青少年10名程度を招待しての交流が再スタートしました。

次世代へ手渡すバトン、そして世界フェスティバルの実現へ

2009

「WFAO アントワープ会議」 ベルギー・アントワープ



2009年5月1～3日、世界17か国から代表者32名が参加。本国際交流事業の提唱者であり、設立以来委員長として長年牽引し続けた森下元康氏が退任し、イギリスのリチャード・チェスター氏が新委員長に就任しました。

2010

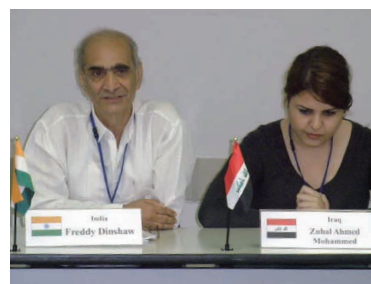
「世紀のコンサート」中国・上海にて開催



2010年7月17日「中国上海万博会場・総合芸術ホール」で、上海城市交響楽団の主催、NPO-WFAOの協力により開催されました。世界26か国から約1,300名の楽員・合唱の参加があり、日本からも約60名が参加しました。

2011

「NPO-WFAO 福岡会議」 「WFAO アジア会議」



ベルギー、インド、イラク、韓国、フィリピン、シンガポール、上海、台湾、日本から参加。2008年に「イラク・ナショナル・ユース・オーケストラ」を17歳で設立したズハール氏、インドのフレddie氏のレポートが印象的でした。

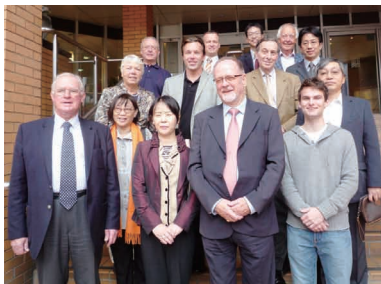
「第1回アジアオーケストラフェスティバル 福岡大会」



2011年8月19～21日に開催。日本人参加者約380名に加え、アジア地域から青少年約40名、社会人約80名の参加があり、アジア会議も開催されるなど、新アジア時代の交流の第一歩となる、有意義な国際大会になりました。

2011

「WFAO グラスゴー会議」 イギリス・グラスゴー



2011年9月9～11日、イギリス・グラスゴーにて、ベルギー、フィンランド、ドイツ、オランダ、ノルウェー、シンガポール、スイス、イギリス、アメリカ、台湾、日本の11か国、16名の参加でWFAO会議が開催されました。

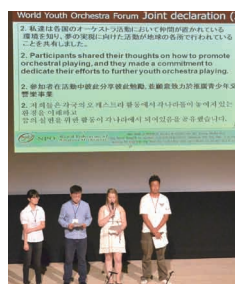
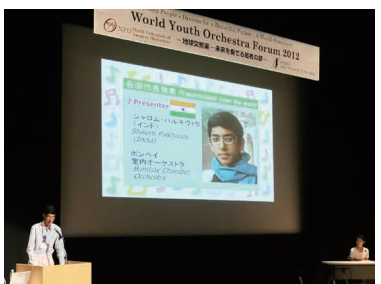
2012

「世界アマチュアオーケストラフェスティバル in 静岡」



2012年8月17～19日に開催。世界17か国から約100名が参加し、編成された三つの合同オーケストラによる感動的な演奏が披露されました。総勢約600名という大規模で華やかな国際フェスティバルとなりました。

「世界青少年オーケストラフォーラム 2012」～地球交響楽－未来を奏でる若者の夢～



ドイツ、インド、フィリピン、台湾、日本の青少年代表者による発表、イラクやベネズエラの青少年オーケストラの活動紹介と演奏、4か国語による共同宣言等がおこなわれ、参加した青少年の絆を一層深めることができました。

2013

「WFAO 豊橋会議」



2013年9月21～23日、ベルギー、ドイツ、イタリア、ノルウェー、韓国、シンガポール、アメリカ、ベネズエラ、日本から参加。懇親会では書道パフォーマンスや、伝統工芸・豊橋筆の製造実演なども行われました。

内外で世界フェスティバルの開催、楽器の寄贈など交流活動が充実

2013

「第2回アジアオーケストラフェスティバル 安東大会」



2013年7月26～28日、韓国・安東市「安東文化芸術の殿堂」にて、安東市の全面的な支援を受けて開催。コンサートは28日「安東文化芸術コンサートホール」で行われ、韓国の伝統楽器も加わった演奏も披露されました。

2014

ネパールへ中古弦楽器・弦・松脂などを寄贈



ネパールの「クレッシェンド・インターナショナル・オーケストラ」の創始者・ビドゥア氏の要請を受け、中古弦楽器・弦・松脂などを寄贈するため、2014年4月19日、NPO-WFAOスタッフが楽器を携え、首都カトマンズに渡航。

ネパール建国以来初の、アマチュアオーケストラ演奏会に参加



2014年4月18日、ネパール建国以来初めてのアマチュアオーケストラ演奏会が開催され、その記念すべき演奏会にベルギー、ドイツ、イタリア、韓国、台湾、日本からもWFAOメンバーなどが参加し、音楽大臣も臨席されました。

「第42回全国アマチュアオーケストラフェスティバル」から海外参加者の招待を開始



1995年のドイツBDLOとの友好協定以来、JAOフェスティバルにはドイツからの参加者を毎年10名ほど招待していましたが、2014年からは新たにアジア各国から毎年10名ほどの招待が始まり、アジアの連携が一層深まりました。

2015

「世界アマチュアオーケストラフェスティバル in ミラノ」 イタリア・ミラノ



2015年9月17～20日、ミラノ音楽院のコンサートホールでミラノ万博会期中に開催され、4大陸の15か国以上の国から約90名が参加。このフェスティバルを契機に「ミラノ・アマチュアオーケストラ連盟」が設立されました。

2016

「WFAO オスロ会議」 ノルウェー・オスロ



2016年9月2～4日、「ノルウェー・ユース・オーケストラ協会」が中心となり、ベルギー、ドイツ、エストニア、韓国、スイス、トルコ、アメリカ、台湾、ケニアから参加。WFAO設立25周年の記念セレモニーも行われました。

2017

「ソウル国際市民オーケストラフェスティバル (SICOF)」 参加協力



2017年9月21～25日、韓国・ソウル「世宗文化会館」にて開催。韓国の連盟組織「Korea Amateur Musicians Association (KOAMA)」から参加要請を受け、日本からは55名の演奏者と3名のスタッフで参加しました。

2018

「WFAO ベルゲン会議」ノルウェー・ベルゲン 「第11回ヨーロッパオーケストラフェスティバル in ベルゲン 2018」参加



WFAO会議ではケニアやコロンビアなど、熱心に活動されている指導者のスピーチが印象的でした。また「ヨーロッパ・オーケストラ・フェスティバル」は3年毎の開催で、今回はワークショップに特別に招待を受け参加しました。

コロナ禍を乗り越え世界の交流が再始動、さらなる広がりと深さを求めて

2019

「WFAO シンガポール会議」



2019年3月15～17日、SNYO スタジオにて「シンガポール・ナショナル・ユース・オーケストラ」が中心となり、世界13か国の参加で開催。「Developing Amateur Orchestras: Models and Trends」をテーマに各国の代表が発表。

2020

コロナ禍だからできることを模索、ポスト・コロナ時代を予見して Web からの発信



世界はコロナ禍という未曾有の事態により、交流は否応なしに制限されました。しかし世界が再び心からの対話を交わされる日が訪れることを祈り、NPO-WFAO は Web での特集や連載を企画して、世界への発信を続けました。

2022

「世界アマチュアオーケストラフォーラム in 静岡 2022」 オーケストラの普遍性 新たな地平を目指して



2022年9月3日、静岡市「グランシップ」にて10か国の参加により3部構成で開催。アフリカ・ケニアからダンカン・ワング博士、アメリカからはエレナ・ラホーナ氏も来日し、講演やパネルディスカッションなどが行われました。

「NPO-WFAO 静岡会議」



2022年9月1～4日、静岡市「グランシップ」にて開催。アルゼンチン、ベルギー、ドイツ、ケニア、ノルウェー、フィリピン、韓国、シンガポール、台湾、アメリカ、日本の参加で、海外からは19名が来日して討論が重ねられました。

2023

「第1回アジアユースオーケストラフェスティバル」台湾で開催



2023年6月30日～7月2日、台湾「桃園市中壢芸術館」にて開催。「中壢青少年管弦楽団」がホストを務め、韓国、シンガポール、日本からも参加。ゲストコンサートマスターは、TYOCで長年講師を務める三浦章宏氏。

「WFAO イスタンブール会議」トルコ・イスタンブール



2023年11月2～4日、トルコ・イスタンブール「The Marmara Pera」にて、ベルギー、エストニア、ドイツ、ノルウェー、トルコ、台湾、日本からの参加で、現地参加者10名、オンライン参加者7名で開催されました。

2024

JAOフェスティバル東京大会「公開講演会」に参加〈テーマ：アマチュアオーケストラの国際貢献〉



2024年8月4日、認定NPO法人「国境なき子どもたち」(KnK)と合同で参加。特別ゲストとしてフィリピン大学のマルティネス・エドナ・ミチ教授もお迎えし、1991年から続く日本から発信した国際交流活動の事績を紹介しました。

2025

アマチュアオーケストラによる国際交流活動は、これからも心の共鳴を奏で続けます



第41回トヨタ青少年オーケストラキャンプ〈2025年3月〉



第53回JAOフェスティバル 福井大会〈2025年9月〉



NPO World Federation of Amateur Orchestras (NPO-WFAO)

認定NPO法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO)

「認定NPO法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO)」は、「世界アマチュアオーケストラ連盟 (WFAO)」から派生して、2007年12月に設立されました。

WFAOは、1991年に設立された「世界青少年オーケストラ協議会 (WYOC)」が端緒となり1998年に青少年、社会人を含む世界のアマチュアオーケストラの交流と発展のために創立され、各国のアマチュアオーケストラやアマチュアオーケストラ連盟を会員として活動を続けています。

NPO-WFAOは、WFAOの活動目的を組織的に支援するとともに、WFAO加盟団体を含む世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として活動を開始し、日本に事務局があります。

アマチュアオーケストラが活発で先進的な活動を展開している国や地域との交流をはじめ、さらに今後発展が期待されるアジア、アフリカ等の地域に対して連帯の輪を広げ、オーケストラ活動を通じて国際社会に寄与するため、グローバルな活動をしていきたいと思っています。

また、単に個人の楽しみとしての音楽だけでなく、青少年教育や社会教育、生涯教育としてオーケストラ活動をとらえ、その国の実情にあった支援活動を目指しています。

オーケストラ相互の国際交流においては、言語の壁を越える「音楽」という共通語を通じて、世界中の人々が共通体験を分かち合うことができます。どのような国、人種、言語、伝統、習慣であっても、モーツァルトやベートーヴェンの楽譜は変わりません。多数の人間の共同芸術活動として、世界中の人々が共通理解できるテキストがすでに用意されています。この特性を生かし、NPO-WFAOはオーケストラ活動を通じて、国や民族を超えた相互理解による世界の平和貢献に役立つ活動を目指してまいります。



認定NPO法人 世界アマチュアオーケストラ連盟
NPO World Federation of Amateur Orchestras

<http://www.npowfao.or.jp>



NPO-WFAO Web Site
<English>



NPO-WFAO Web Site
<Japanese>